

2024年度 第49回 全国伝統的工芸品公募展

JAPAN'S TRADITIONAL CRAFT
COMPETITION 2024

報告書

Exhibition Report



主催：一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会

後援：経済産業省・中小企業庁・日本商工会議所・全国商工会連合会・全国中小企業団体中央会

開催概要

名称	2024年度第49回全国伝統的工芸品公募展 JAPAN'S TRADITIONAL CRAFT COMPETITION 2024	
開催主旨	長い間受け継がれた確かな伝統的技術・技法に、現代生活の様式に合致し、新しいアイデアや表現を取り入れた市場性のある伝統的工芸品を公募し、魅力あふれる製品の開発を行う目的で実施。現代生活で使われるための需要を喚起し、国内だけではなく世界のマーケットにも通じる製品での市場開拓を狙う。	
応募期間	2024年9月17日(火)～10月25日(金)	
審査会	2024年11月27日(水) 国立新美術館	
審査結果発表	2024年11月28日(木)	
応募総数	119工芸品、212点、応募者189名	
審査結果	入賞12点、入選113点	

審査委員(敬称略/五十音順)

内田 篤呉	MOA美術館・箱根美術館館長
宇野 万貴子	株式会社高島屋 MD本部 呉服部 日本橋店呉服部長
北村 仁美	富山市ガラス美術館 副館長
黒川 廣子	東京藝術大学 大学美術館 館長・教授
澤井 伸	多摩織伝統工芸士会 会長
十四代 今泉 今右衛門	陶芸家 公益社団法人日本工芸会副理事長 重要無形文化財「色絵磁器」保持者
田中 敦子	工芸ライター
棚町 敦子	「美しいキモノ」エディトリアル スーパーバイザー
戸田 敏夫	日本伝統工芸士会 会長
日野 明子	クラフトバイヤー
増村 紀一郎	漆芸家 東京藝術大学名誉教授 重要無形文化財「髹漆」保持者
御手洗 照子	有限会社T-POT 代表取締役 株式会社t. gallery 代表取締役
山口 徳彦	経済産業省商務情報政策局商務・サービスグループ 文化創造産業課伝統的工芸品産業室長
原田 元	一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会 代表理事

審査講評

審査委員長

漆芸家 東京藝術大学名誉教授 重要無形文化財「髹漆」保持者

増村 紀一郎



コロナ禍がようやく終息を見せてきたなか2024年11月27日、六本木の国立新美術館 展示室に応募総数212点・119工芸品・応募者189人の出品作品が勢揃いしました。

今年の審査は新たに色絵磁器の人間国宝である今泉今右衛門さんが参加した審査委員14名で行いました。応募作品のうち113点が入選し12作品が入賞しました。

ここに入賞作品を紹介して49回展を総括して締めくくりたいと思います。

「内閣総理大臣賞」には平山和彦・真喜子夫妻の起業された「平山日用品店」が製作した京指物（京都府）の折り畳みのストूल『patol stool HINOKI』が技術・デザイン・機能すべてに優秀であるとして選出されました。

「経済産業大臣賞」には青山弥生さんが製作した江戸切子（東京都）のカップ『光雨』が技術・デザインに優れて、国内外を通じて市場性が高いとの評価を得て選出されました。

「経済産業省商務・サービス審議官賞」には野村和生さんが製作した越前打刃物（福井県）『野村型』の包丁が、技術・機能に優れて国内外に市場性の高い作品として選出されました。

「中小企業庁長官賞」には山口善照さんが製作した有松・鳴海絞（愛知県）の木綿の着物『白地 菱小格子』が、繊細な仕事を海外にピーアールしたい作品として選出されました。

「日本商工会議所会頭賞」には十六代鈴木盛久さんが製作した南部鉄器（岩手県）の『鈴形鉄瓶』が、伝統技術であるアラレの意匠に造形美と独自性のあるデザインとして評価されました。

「全国商工会連合会会長賞」には後藤美鈴さんが製作した京繻（京都府）『かわひらこ』の蝶をモチーフにした刺繍が利便性と現代性の高さから選出されました。

「全国中小企業団体中央会会長賞」には出品者最高齢で御年93歳の本間昇さんが製作した箱根寄木細工（神奈川県）『昇華寄木四方盆』が新しい表現への挑戦がある作品として選出されました。

「一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賞」にはプロデューサーのKoquela代表・金盛友実さんと山田慎一・吉田直弘さんが製作した大堀相馬焼（福島県）『ふたたび -Soma Dual Layer Tumbler-』が手で持っても熱くないアイデアとデザイン性に優れたカップとして選出されました。

「日本伝統工芸士会会長賞」には佐久田康子さんが製作した久米島紬（沖縄県）『カンカキー4玉』が技術の研鑽とモダンな仕上がりを評価されて選出されました。

「若手奨励賞」には従事年数15年以下で若手の挑戦を奨励するとともに工芸の新たな可能性を秘めた作品として以下の3点を選びました。

- ①池田大悟さんが製作した久留米絣（福岡県）『光の回廊』
- ②小春友樹さんが製作した江戸和竿（東京都）『タナゴ竿』
- ③畠山拓巳さんが製作した南部鉄器（岩手県）『布団型鉄瓶シマエナガ』

以上、受賞された方々、おめでとうございます。

今回も多くの出品者の思いは複雑かもしれませんが公募展への出品を通じて得るものは大きく、公募展は今後の飛躍のジャンプ台の役割を果たす存在であると信じております。

内閣総理大臣賞

工芸品名（都道府県）	京指物（京都府）
作品名	patol stool HINOKI
製作者	平山日用品店



【講評】
日本の生活様式にはものをコンパクトに片付ける文化があり、このスツールも実に日本らしい発想。丈夫な素材（ひのき・籐）で、ものを組み立てる楽しみと狭い家屋でも使える利便性に訴求力がある。屏風などに使われる紐蝶番をジョイントに活用しているのが挑戦的で、机などほかのインテリアに展開できること、またデザイナーを介さずいちから企画している点に将来性を感じることから評価され、選定された。

【経歴】		平山和彦		平山真喜子	
1980年	愛知県生まれ	1980年	京都府生まれ	1980年	京都府生まれ
1999-2003年	滋賀県立大学生生活デザイン専攻	1999-2003年	滋賀県立大学生生活デザイン専攻	1999-2003年	滋賀県立大学生生活デザイン専攻
2003-04年	長野県上松技術専門校木工科	2003-06年	住宅リフォーム会社勤務	2003-06年	住宅リフォーム会社勤務
2004-11年	有限会社京都指物勤務	2007-09年	設計事務所勤務	2007-09年	設計事務所勤務
2011年	「平山日用品店」設立。 オリジナル家具の 構造設計、製作を担当	2011年	「平山日用品店」設立。 オリジナル家具の デザイン・企画を担当	2011年	「平山日用品店」設立。 オリジナル家具の デザイン・企画を担当

【受賞歴】	
2008年	第6回暮らしの中の木の椅子展 こどもの椅子 部門賞
2018年	第58回日本クラフト展 -クラフトNEXT- 奨励賞
2020年	第4回Woodyコンテスト 木製家具部門 最優秀賞
2021年	国際家具デザインコンペティション旭川2021 特別賞 第7回ウッドデザイン賞2021 奨励賞
2022年	第2回日本和文化グランプリ 優秀賞



【受賞者の声】
この度は、このような輝かしい賞を頂戴し、心より感謝申し上げます。patol stoolは、私たちが代表する家具であり、唯一無二の存在であると自負しておりますが、今回このような評価を頂き、その自信をさらに深めました。日本では昔から「折り畳む」という文化がありますが、patol stoolはその言葉を体現した椅子だと考えています。日本での普及はもちろんのこと、日本の文化を発信するという意味でも 海外での展開を進めており、patol stoolが世界の多くの方に日本の文化を伝える一助となれるよう今後も精進したいと思います。この度は誠にありがとうございました。

経済産業大臣賞

工芸品名（都道府県）	江戸切子（東京都）
作品名	光雨
製作者	青山弥生



【講評】
切子の彫りが深く素晴らしい技術力で、磨いている部分と荒い縁（スモーク）の部分の対比を上手くいかしている。一歩間違えると柄が消えてしまいそうな所を細かく何か所も削っており、プリズムが美しい。下にいくにつれてグラデーションを入れ、雨が降っているかのような風景を再現したデザインも優美。技術力とデザイン性のバランスが優れていることから評価され、選定された。

【経歴】
1983年 栃木県生まれ
2008年 株式会社清水硝子入社
2023年 伝統工芸士認定

【受賞歴】
2015年 全国伝統的工芸品公募展 特別賞
2018年 全国伝統的工芸品公募展 中小企業庁長官賞
2019年 第31回江戸切子新作展 江戸切子親善大使 坂崎賞
2020年 第32回江戸切子新作展 グラスウェアタイムス社 奨励賞
第3回北近江サケグラス公募展 山路酒造賞
2022年 全国伝統的工芸品公募展 若手奨励賞
2023年 第35回江戸切子新作展 東急プラザ銀座賞
2024年 第36回江戸切子新作展 東急プラザ銀座賞

【受賞者の声】
この度は栄誉ある賞を賜り、大変光栄です。
これからも江戸切子の魅力をたくさん表現していきたいと思います。

経済産業省商務・サービス審議官賞

工芸品名（都道府県）	越前打刃物（福井県）
作品名	野村型
製作者	野村和生



【講評】

伝統的な技術から生まれる刃紋が美しく、また柄は性別年齢を問わず扱いやすい太さで、西洋のナイフを彷彿とさせるデザインにより和と洋がうまく融合している。価格も適正かつ刃物は海外からの人気が高く国内外で通用する市場性の高さが評価され、選定された。

【経歴】

1967年 11月27日生まれ

1997年 （株）佐治打刃物入社

2018年 伝統工芸士（総合部門）認定

【受賞歴】

2020年度全国伝統的工芸品公募展 入選

【受賞者の声】

この度「経済産業省商務・サービス審議官賞」を受賞し嬉しい気持ちです。
ありがとうございます。

中小企業庁長官賞

工芸品名（都道府県）	有松・鳴海絞（愛知県）
作品名	白地 菱小格子
製作者	山口善照



【講評】

従来の絞り染めでは縦に使われる技法を、斜めに使う（右斜めの線で一回、左斜めの線で一回をそれぞれ板に挟んで紐に括って染める）ことで柄に独特なゆらぎが生まれ、味わい深い作品となっている。有松・鳴海絞は浴衣のイメージが強いが本作は着物で着用場面が広がること、木綿100%で扱いやすくモダンなため国内外で着用しやすい点も評価され、選定された。



【受賞者の声】

今回は、ほぼ絶えていた絞り技法を参考にして作った商品が受賞できたことをとても嬉しく思っています。当地でも、ものづくりのできる人が少なくなっているのので、様々な作業段階での技を継承する人を育てていきたいです。

日本商工会議所会頭賞

工芸品名（都道府県）	南部鉄器（岩手県）
作品名	鈴形鉄瓶
製作者	鈴木盛久



【講評】

南部鉄器の伝統である「あられ」模様の重厚さをデザインで軽やかにしており、形そのものも球体で現代的な印象。シンプルながらも確かな技術から生まれる造形美とデザイン性が評価され、選定された。



【受賞者の声】

製作意図が伝わって頂けた喜びがあります。今後も伝統的なものと現代の感覚をミックスし楽しい作品を作りたいです。

全国商工会連合会会長賞

工芸品名（都道府県）	京繻（京都府）
作品名	かわひらこ
製作者	後藤美鈴



【受賞者の声】
この度は、全国商工会連合会会長賞を賜りまして誠にありがとうございます。京繻の良さを後世に伝え、新しい京繻の技法も開拓していきたいと思います。より多くの方に刺繻の着物や帯を身に付けて頂けるように励みます。

全国中小企業団体中央会会長賞

工芸品名（都道府県）	箱根寄木細工（神奈川県）
作品名	昇華寄木四方盆
製作者	本間昇



【受賞者の声】
身に余る受賞を頂き光栄です。ありがとうございます。努力して新しい寄木文様を考案した甲斐がありました。

【講評】
截金作品からインスピレーションを受け、漆木の黄色を生かした寄木文様を新たに考案した本作は、そのアイディアと新しい表現への挑戦が高く評価された。また93歳（従事年数77年）の繊細な仕事ぶりも評価され、選定された。



一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賞

工芸品名（都道府県）	大堀相馬焼（福島県）
作品名	ふたたび -Soma Dual Layer Tumbler-
製作者	Koquela
製作者	山田慎一、吉田直弘



【講評】

飲み物が冷めにくく手が熱くならないという大堀相馬焼の「二重焼」の長所を活かしたタンブラーで、シリコン製の蓋をつけるなど日常に取り入れやすいアイデアが高く評価された。大堀相馬焼の特徴である走り駒の絵付けもモダンに配置されており、デザイン性の高さを含め評価され、選定された。



代表：金盛友実

【受賞者の声】

大堀相馬焼を一目見た時から今も、精巧な技術と質感、その土地の文化を纏った駒絵（左馬）に魅力され続けています。この作品を広めることによって、ふたたび大堀相馬焼に注目が集まり、産地が活気づくことを願っています。今後も、様々な角度から大堀相馬焼を見つめ、その良さを発信して参ります。



山田慎一



吉田直弘

日本伝統工芸士会会長賞

工芸品名（都道府県）	久米島紬（沖縄県）
作品名	カンカキー 4 玉
製作者	佐久田康子



【講評】

久米島紬の伝統的な泥染めの美しさに、洗練されたデザインが調和している点が高く評価された。伝統的でありながらモダンな仕上がりで、世代を問わず着用シーンを想起できる完成度の高さから評価され、選定された。



【受賞者の声】

賞には縁がないのですが、周りのすすめで応募して受賞したので、とっても嬉しいです。これからも、頑張って織・染をしたいです。

若手奨励賞（3作品）

工芸品名（都道府県）	久留米絣（福岡県）
作品名	光の回廊
製作者	池田大悟



【講評】

従来の久留米絣にはあまり見られない幾何学模様（縞と四角形を組み合わせた模様）の新鮮さと、性別や和装・洋装を選ばない配色のセンスが高く評価され、選定された。



【受賞者の声】

この度は若手奨励賞を賜り誠にありがとうございます。今後、更なる技術の向上を目指し、皆様に喜んでいただける作品をつくり続けていけるよう精進してまいります。

工芸品名（都道府県）	江戸和竿（東京都）
作品名	タナゴ竿
製作者	小春友樹



【講評】

釣竿は矢竹の節を揃えるのが難しいが、本作は節・太さがぴたりと揃っており、素材選びから作者の熱意が込められていたことが伝わってくる。木工、漆を含め総合的な技術の高さが評価され、選定された。



【受賞者の声】

職人が減っていく中ではありますが、少しでも江戸和竿の魅力を知っていただき今後へと繋げていければと思っております。

工芸品名（都道府県）	南部鉄器（岩手県）
作品名	布団型鉄瓶 シマエナガ
製作者	畠山拓巳



【講評】

伝統的な技法に忠実ながらも、販売のターゲット層（1人暮らしのF1層）を明確にしたうえで、昨今人気のシマエナガをつまみに配し、鉄瓶のサイズも小ぶりにするなど、市況も重視した製作姿勢が評価され、選定された。



【受賞者の声】

若手奨励賞頂きありがとうございます。200点を超える作品の中から選んで頂けたこと光栄に思います。今後もより上位を目指すとともに、技術と作品の質の向上に努めていきます。

入賞一覧

賞	工芸品名	作品名	製作者名	都道府県
内閣総理大臣賞	京指物	patol stool HINOKI	平山日用品店	京都府
経済産業大臣賞	江戸切子	光雨	青山弥生	東京都
経済産業省 商務・サービス審議官賞	越前打刃物	野村型	野村和生	福井県
中小企業庁長官賞	有松・鳴海絞	白地 菱小格子	山口善照	愛知県
日本商工会議所会頭賞	南部鉄器	鈴形鉄瓶	鈴木盛久	岩手県
全国商工会連合会会長賞	京繡	かわひらこ	後藤美鈴	京都府
全国中小企業団体中央会会長賞	箱根寄木細工	昇華寄木四方盆	本間昇	神奈川県
一般財団法人伝統的工芸品 産業振興協会賞	大堀相馬焼	ふたたび -Soma Dual Layer Tumbler-	Koquela	福島県
日本伝統工芸士会会長賞	久米島紬	カンカキー 4 玉	佐久田康子	沖縄県
若手奨励賞（3作品）	久留米絰	光の回廊	池田大悟	福岡県
	江戸和竿	タナゴ竿	小春友樹	東京都
	南部鉄器	布団型鉄瓶 シマエナガ	畠山拓巳	岩手県

入選作品一覧(113作品)

工芸品名	出品者名	作品名	都道府県	工芸品名	出品者名	作品名	都道府県
結城紬	海老沼富美子	祝 思川桜誕生70周年	栃木県	会津本郷焼	佐藤大寿	灰釉緑流し鉢	福島県
近江上布	向井純子	地機織り 大麻布帯地	滋賀県	笠間焼	佐藤剛	笠間色 八十三匁(310g) 伸し皿	茨城県
近江上布	山口礼子	和洋麻バッグ	滋賀県	常滑焼	梅原廣隆	常滑焼火窯変飛びカンナ後手6点セット	愛知県
西陣織	岡本織物株式会社	西陣織 金欄 真珠粉本銀箔模様引箔「源氏物語」第七帖 紅葉賀 表装	京都府	九谷焼	中村重人	色絵モザイク文 ペアロックグラス	石川県
西陣織	荒生春翔	額「京都」	京都府	九谷焼	齊田博	色絵幾何文鉢	石川県
播州織	株式会社織馬鹿	ネックラー＆ヌックーマー	兵庫県	九谷焼	南幸	襲色絵茶碗「紅掛空色」	石川県
弓浜緋	緋音工房	木綿組織緋帯地「うららか」	鳥取県	九谷焼	前田昇吾	淡雪釉 十面振り晩酌揃	石川県
博多織	角勤子	白の想い	福岡県	九谷焼	宮本雅夫	青手寿果文皿揃	石川県
博多織	近藤啓子	手織り八寸なごや帯 瑤華献上	福岡県	京焼・清水焼	上坂妙(雅号 善妙)	白菊霞茶器揃	京都府
久留米緋	池田大悟	光の回廊	福岡県	京焼・清水焼	見谷若葉	網に華々 ペアいっぽく碗	京都府
久留米緋	株式会社テクニカルジャパン	新しい形の綿入り半纏(久留米緋)	福岡県	砥部焼	山田公夫	組・平茶わん	愛媛県
本場大島紬	叶若枝	大島紬ケープジャケット	鹿児島県	伊万里・有田焼	畑石眞嗣	キューールデザイン(革表現技法)瑠璃焼締桜尽し片口酒器セット	佐賀県
本場大島紬	たけがわ織物	浜風	鹿児島県	波佐見焼	台丹窯 山口製陶所	染付蘭華文4.5寸皿	長崎県
久米島紬	佐久田康子	カンカキー4玉	沖縄県	天草陶石	黒川秀徳	天草陶石本焼き加工	熊本県
久米島紬	山城智子	クジリゴーシ・ヒチサギー・マルブサー1玉	沖縄県	津軽塗	白川明美	唐塗皿 花筏	青森県
久米島紬	桃原禎子	ヒチサギー・十字1玉	沖縄県	津軽塗(さわるツガルヌリ)	株式会社たなか銘産	ゆいぬり	青森県
東京染小紋	根橋亮一	パラレルパターン	東京都	鎌倉彫	青山常昭	桜の髪飾り	神奈川県
十日町友禅	株式会社青柳	振袖「宗達荘厳裂取り図」	新潟県	鎌倉彫	遠藤英明	条紋蒔地四方皿	神奈川県
十日町友禅	株式会社青柳	訪問着「日本の四季」	新潟県	鎌倉彫	鎌倉彫式陽堂	青根来鎌倉彫盆	神奈川県
松本本藍型染	濱完治	彩花	長野県	輪島塗	吉田宏之	市松小箱	石川県
有松・鳴海絞	山口善照	白地 菱小格子	愛知県	山中漆器	株式会社匠頭漆工	さび塗り富士	石川県
有松・鳴海絞	堀田まき子	蜘蛛の巣文様	愛知県	広島漆芸	株式会社高山清	両口酒器「EKUBO」	広島県
名古屋友禅	山田るり子	千歳	愛知県	岩谷堂筆筒	及川洋	岩谷堂筆筒「ハトとオリーブ」	岩手県
手描きカチン	岡根美貴雄	シダの訪問着	滋賀県	大館曲げわっぱ	仲澤恵梨	マルチ優美セット	秋田県
京友禅	石塚文雄	訪問着「雪に舞う」、帯「鶴」	京都府	奥会津編み組細工	板橋泰二郎	ヤマブドウ手提げかご	福島県
京友禅	安藤染工	京友禅マルチバック	京都府	奥会津編み組細工	佐久間宗一	やまぶどうバック	福島県
藍染	絹や	天然灰汁発酵建て 絞り藍染革バック	徳島県	奥会津編み組細工	こしゃえる	山葡萄手提げバッグ	福島県
京繻	谷口康雄	陽は又昇る	京都府	御盆	當眞嗣人	ハワイの朝凧	東京都
京繻	後藤美鈴	かわひらこ	京都府	箱根寄木細工	本間昇	昇華寄木四方盆	神奈川県

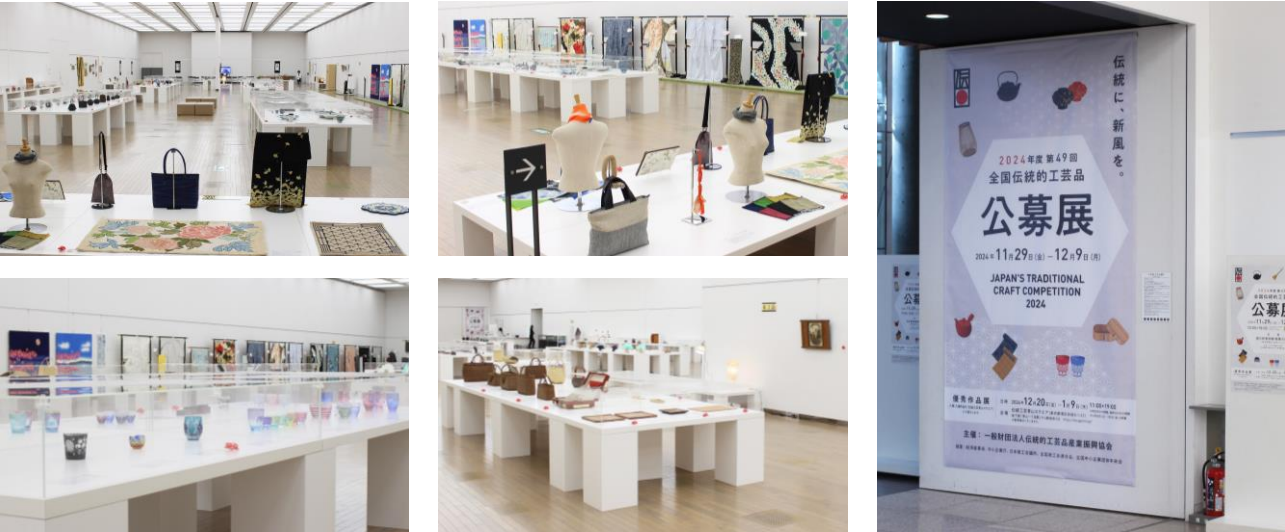
入選作品一覧(113作品)

工芸品名	出品者名	作品名	都道府県	工芸品名	出品者名	作品名	都道府県
箱根寄木細工	篠田英治	寄木乃柄小刀	神奈川県	江戸切子	山崎祥	【猪口】スターダスト 瑠璃／琥珀	東京都
井波彫刻	岩崎一甫	和風パネル 豊穰葡萄	富山県	江戸切子	株式会社清水硝子	AWAKO COLLECTION	東京都
京指物	田原寛季	200年杉折敷膳	京都府	江戸切子	青山弥生	光雨	東京都
京指物	平山日用品店	patol stool HINOKI	京都府	江戸硝子	渡辺歩志	ロックグラス ダイアモンドチェック 黒	東京都
京指物	平山日用品店	patol stool HINOKI black	京都府	水引工芸	ナカムラアケミ	語り合う水引「蓮」	東京都
豊岡杞柳細工	たくみ工芸	柳行李ビジネスストラック	兵庫県	水引工芸	ナカムラアケミ	語り合う水引「祈り」	東京都
松江藩籐細工	川口淳平	銑籐花結び編み籠バッグ躰	鳥取県	燕三条の金工	株式会社野崎製作所	GRAVIMORPH SPINDLE	新潟県
江戸和竿	小春友樹	タナゴ竿	東京都	京扇子	高山弘樹	飾り扇子「仄仄」	京都府
別府竹細工	大谷良三	エコバスケット	大分県	京扇子	菱田隆之	7.5寸45間しけ引き(ヴィーナス・アース・ジュピター)	京都府
別府竹細工	大橋重臣	盛箆「Cocoon」	大分県	切子	おぎのほの美	フリーグラス「ゆるり」	大阪府 京都府
南部鉄器	小熊愉吉	鉄瓶「蝙蝠」	岩手県	しめ縄わら工芸	藤井俊策	神聖	兵庫県
南部鉄器	鈴木盛久	鈴形鉄瓶	岩手県	燻し印傳	南浦太市郎	花喰い鳥 唐草文染め抜き燻袍	奈良県
南部鉄器	畠山拓巳	鉄瓶「猫の隠れ家」	岩手県	燻し印傳	南浦太市郎	葡萄唐草文染韋 燻し染め抜き長札	奈良県
南部鉄器	畠山拓巳	布団型鉄瓶 シマエナガ	岩手県	棕櫚箒	西尾香織	棕櫚手元箒	和歌山県
南部鉄器	山田真	二葉松文江戸分銅形鉄瓶	岩手県	松江藩籐細工	藤田真理	手挽籐素編組手付籠	島根県
東京銀器	亘理立	南鍔玉霰湯沸	東京都	丸亀うちわ	風・KOUNO	あかね丸うちわ	香川県
東京銀器	株式会社内藤銀器製作所	横筋莫莖香炉	東京都	薩摩切子	原口拓馬	達磨のタンブラー	鹿児島県
高岡銅器	株式会社山口久乗	音心具セット「麗人」	富山県	真岡木綿	真岡木綿工房	さくら咲樂	栃木県
高岡銅器	株式会社山口久乗	かざりん円 青銅	富山県	十日町明石ちぢみ	吉澤織物株式会社	風渡る	新潟県
高岡鉄器	般若佐伎	葡萄狩りの釜	富山県	大堀相馬焼	Koquela	ふたたび -Soma Dual Layer Tumbler-	福島県
越前打刃物	野村和生	野村型	福井県	会津塗	豊田芳弘	会津塗りの万華鏡	福島県
屋久杉春日厨子	有限会社いなば	屋久杉春日厨子 LED付き	静岡県	山中漆器	有限会社浅田漆器工芸	SUWARI陽炎塗 ペア	石川県
京仏壇、京仏具	株式会社金箔押 山村	金の葉菜 GOLDLEAF bookmark	京都府	土佐打刃物	SOMATA KA	itadori黒打包丁	高知県
珠数	栗塚芳恵	MU	京都府	江戸切子	三島大世	KIRIKO HOURGLASS	東京都
播州そろばん	高山辰則	HAshi	兵庫県	琉球パナマ帽子	株式会社PERIOD OS	琉球パナマ 花透かし	沖縄県
播州そろばん	播州算盤工芸品協同組合	MOSAICそろばん	兵庫県	京友禅/五泉絹織物紹紗	中條弘之	離岸流	京都府 新潟県
川尻筆	畑幸壯	化粧筆「調和 ～Harmony～」	広島県	京友禅/五泉絹織物紹紗	中條弘之	湖面の虹	京都府 新潟県
江戸からかみ	一色清	砂子パネル春「日うらうら」と「月おぼろ」セット	東京都				

国立美術館での展示会

会期	2024年11月29日(金)～12月9日(月) ※12月3日(火)休館
会場	国立新美術館 1階展示室1D(東京都港区)
来場人数	7,757名

昨年度に引き続き国立新美術館での展示会を実施しました。公募展をご存じない皆様にも広く工芸品の良さを知って頂く好機となりました。



優秀作品展

会期	2024年12月20日(金)～2025年1月9日(木) ※12月28日(土)～1月3日(金)休館
会場	伝統工芸 青山スクエア(東京都港区)

入賞・入選した113点の作品展を行いました。



授賞式

開催日	2025年1月17日(金)
会場	明治記念館(東京都港区)

受賞11組が来場し表彰を受けました。来賓として経済産業省大臣官房商務・サービス審議官 南様、全国商工会連合会事務局長 佐々木様、審査委員長 増村様、日本伝統工芸士会会長 戸田様が列席。



(写真・上) 来賓、受賞者、主催（当協会代表理事 原田）による集合写真。
(同・下左) 賞状授与の様子
(同・下右) 平山日用品店（平山和彦様）による受賞者代表スピーチの様子。

ポスター・チラシ・DM

◆作品募集

伝統に、新風を。

2024年度 第49回
全国伝統的工芸品
公募展
作品募集

応募期間
2024年9月17日(火)~10月25日(金)必着

作品展示会
国立新美術館(東京都港区六本木)にて12月上旬頃に開催
たくさんのお客様に作品をご覧頂けます!

内閣府認定大賞 賞金 30万円 経済産業大賞 賞金 20万円 ほか
地域・経済産業省、中小企業庁、日本手工芸協会、全国手工芸協会、全国中小企業団体中央会
主催：一般財団法人伝統的工芸品振興財団(以下「財団」と記載) 共催：日本伝統工芸館
お問い合わせ先：企画課 〒100-0052 東京都港区赤坂6-1-22 TEL：03-6432-9335

2024年度 第49回
全国伝統的工芸品
公募展
作品募集

長い歴史が継がれた伝統的技術・技法に、現代生活の中で使われるための新しいアイディアや機能を取り入れた、市場性の高い伝統的工芸品を募集。国際的にも世界のマーケットにも通じる魅力あふれる作品の展示を行うことも目的としています。本年度も多くの方に作品をご覧頂ける「国立新美術館」での展示会を開催します。全国各地で公募に挑戦する皆様には、この機会に思いを馳せ、暮らしが楽しくなるような作品の応募をお待ちしております。

応募資格	募集作品	賞	展示会
経済産業大臣指定伝統的工芸品及びこれに準じる伝統工芸品を事業として製作する個人・グループ(個人事業主)及び商品生産の法人(会社)を募集。公募・専断併用・団体等。(法人・グループ・個人事業主の募集、学生は対象外となります。)	使い手の利便性を高めたり、機能性をもつ伝統工芸品を募集しております。参加賞に準じて入札入札、選ばれるための新しいアイディアを生かした作品。参加賞に準じて入札入札、選ばれるための新しいアイディアを生かした作品。参加賞に準じて入札入札、選ばれるための新しいアイディアを生かした作品。	内閣府認定大賞 30万円 経済産業大賞 20万円 経済産業省賞 10万円 ほか	「国立新美術館」(東京都港区六本木)にて展示会を開催し、たくさんのお客様に作品をご覧頂ける機会を設けます。

応募の手順

- 応募作品を提出する
- 応募作品の取り扱い
- 作品の購入

応募作品の提出方法
〒100-0052 東京都港区赤坂6-1-22 TEL：03-6432-9335

ポスター・チラシ (表)

チラシ (裏)

◆展示会

伝統に、新風を。

2024年度 第49回
全国伝統的工芸品
公募展

2024年11月29日(金)~12月9日(月)
10:00~18:00 観覧料無料

会場
国立新美術館1階展示室1D
(東京都港区六本木7-22-2)
東京メトロ千代田線六本木駅
青山公園方面改札北口(美術館直結)

優秀作品展
日時 2024.12.20(金)~1月9日(木) 11:00~19:00
会場 伝統工芸品展示スペース(東京都港区赤坂6-1-22)
〒100-0052 東京都港区赤坂6-1-22 TEL：03-6432-9335

JAPAN'S TRADITIONAL CRAFT COMPETITION 2024

2024年度 第49回
全国伝統的工芸品
公募展

使い手の日々が楽しくなる、
“明日から一生使える” 伝統工芸品が集結!

経済産業大臣指定「伝統的工芸品」を世に知らしめ、日本にはまだ見えない伝統工芸品が広がっています。第49回を迎える「全国伝統的工芸品公募展」では、その魅力を伝統的に、現代のライフスタイルに求められるアイディアと工夫を取り入れた工芸品作品の公募・審査を行います。優秀な作品には「内閣府認定大賞」など素晴らしい賞を授けたいです。

日本が誇る技術と文化の魅力を伝える機会をぜひ活用できる季節。あきらめずの暮らしに誇りを添える工芸品の出会いをお楽しみください。

会場アクセス
2024年度 第49回
全国伝統的工芸品
公募展
国立新美術館1階展示室1D
(東京都港区六本木7-22-2)
東京メトロ千代田線六本木駅
青山公園方面改札北口(美術館直結)
https://www.nact.jp

優秀作品展
伝統工芸品展示スペース(東京都港区赤坂6-1-22)
地下鉄「青山一丁目駅」から徒歩3分 https://www.nact.jp

ポスター・チラシ (表)

チラシ (裏)

伝統に、新風を。

2024年度 第49回
全国伝統的工芸品
公募展

2024年11月29日(金)~12月9日(月)
10:00~18:00 観覧料無料

会場
国立新美術館1階展示室1D
(東京都港区六本木7-22-2)
東京メトロ千代田線六本木駅
青山公園方面改札北口(美術館直結)

優秀作品展
日時 2024.12.20(金)~1月9日(木) 11:00~19:00
会場 伝統工芸品展示スペース(東京都港区赤坂6-1-22)
〒100-0052 東京都港区赤坂6-1-22 TEL：03-6432-9335

2024年度 第49回
全国伝統的工芸品
公募展

日本から伝統工芸品が“六本木の美の殿堂”に集結!

高度な技術と100年以上の歴史を誇る伝統的工芸品は、全国で240の産地があります。これらの工芸品を中心に全国の工芸品とその技とを、そしてその生活の中で使われる工夫を「公募展」。

一人でも多くの方にこの作品の魅力を伝えるために、毎年国立新美術館にて展示会を開催します。

応募の機会をぜひ活用し、暮らしが楽しくなるような作品の応募をお待ちしております。

お問い合わせ先：一般財団法人伝統的工芸品振興財団(以下「財団」と記載) 〒100-0052 東京都港区赤坂6-1-22 TEL：03-6432-9335

DM (日本語)

JAPAN'S TRADITIONAL CRAFT COMPETITION 2024

Nov.29(Fri.) - Dec.9(Mon.)
10:00~18:00
Admission free

Venue
The National Art Center, Tokyo Gallery 1D
Tokyo Metro Chiyoda Line
Noguchika Station (C2) direct access from Exit 6

Award Winner's Exhibition
Date Dec.20(Fri.)~2024-Jan.9(Thu.)2025
11:00~19:00
Venue Japan Traditional Crafts Anyama Square
Tokyo Metro Chiyoda Line
Noguchika Station (C2) direct access from Exit 6

JAPAN'S TRADITIONAL CRAFT COMPETITION 2024

Traditional crafts from all over Japan gather in "the Hall of Arts in Roppongi"!

There are more than 300 designated traditional crafts nationwide, with advanced craftsmanship and history of over 100 years. "Japan's Traditional Craft Competition" gathers these crafts, and the craftsmen compete not only their skills and beauty, but originality to use in our daily lives. We will hold the exhibition at the National Art Center, Tokyo to show these masterpieces to a large audience. Please come and enjoy the exquisite beauty of the craft. We look forward to assuming you to this delightful event at the end of the Season of Art, Autumn!

Contact: The Association for the Promotion of Traditional Craft Industries
8-1-22 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 JAPAN
E-mail: hoshinaka@kougai.or.jp https://www.kougai.or.jp/hoshinaka/

DM (英語)

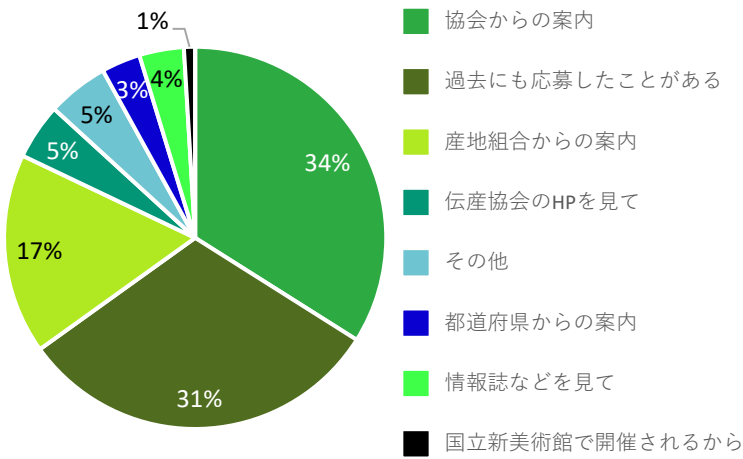
応募概況

業種	工芸品数				応募者数				点数			
	指定	県等指定	非指定	産地数計	指定	県等指定	非指定	産地数計	指定	県等指定	非指定	産地数計
織物	11	5	0	16	22	7	0	29	22	8	0	30
染色品	6	3	3	12	10	4	3	17	10	5	3	18
繊維製品	1	0	2	3	2	0	3	5	3	0	3	6
陶磁器	11	4	2	17	21	4	1	26	22	4	2	28
漆器	6	0	2	8	13	0	2	15	13	0	2	15
木工品	8	2	3	13	15	3	3	21	18	3	4	25
竹工品	2	0	0	2	3	0	0	3	3	0	0	3
金工品	6	1	1	8	15	1	1	17	18	1	3	22
仏壇・仏具	3	1	1	5	4	1	1	6	5	1	1	7
和紙	1	0	1	2	1	0	1	2	1	0	1	2
文具	3	0	0	3	4	0	0	4	5	0	0	5
石工品・貴石細工	1	1	0	2	1	1	1	3	1	1	0	2
人形・こけし	1	0	0	1	2	0	0	2	2	0	0	2
諸工芸	7	6	11	24	18	6	10	34	20	6	14	40
材料・用具	2	0	0	2	2	0	0	2	2	0	0	2
コラボ	1	0	0	1	3	0	0	3	5	0	0	5
合計	70	23	26	119	136	27	26	189	150	29	33	212

応募者内訳

	男性	女性	企業	合計
指定	68	30	38	136
県等指定	9	9	9	27
非指定	8	9	9	26
合計	85	48	56	189

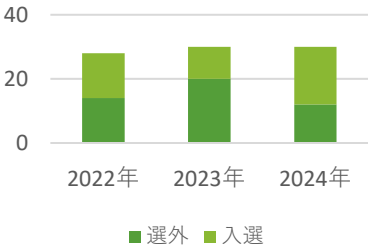
応募のきっかけ



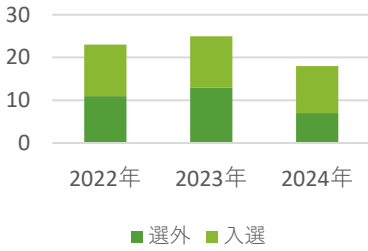
指定＝経済産業大臣指定伝統的工芸品
県等指定＝都道府県等地方自治体の指定を受けている工芸品
非指定＝経済産業大臣および都道府県等の指定を受けていない工芸品

工芸品別 過去3年間の応募数推移

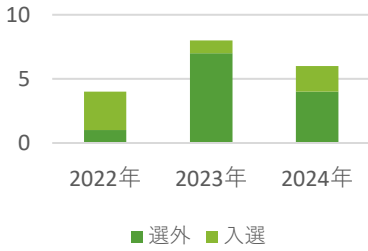
織物



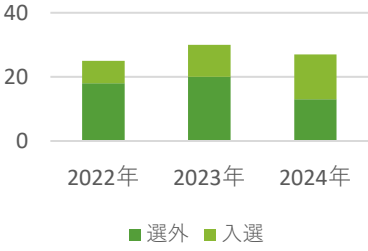
染色品



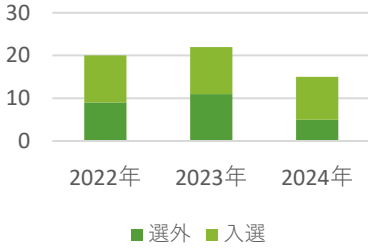
繊維製品



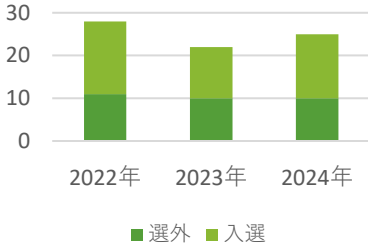
陶磁器



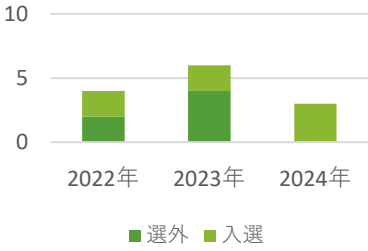
漆器



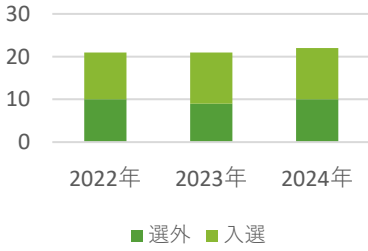
木工品



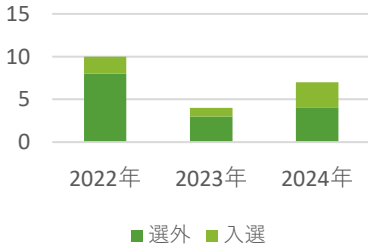
竹工品



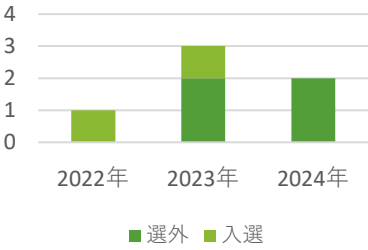
金工品



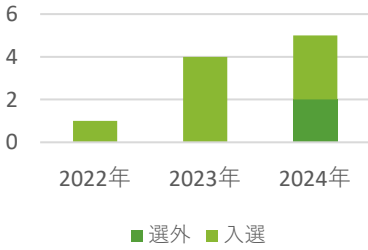
仏壇・仏具



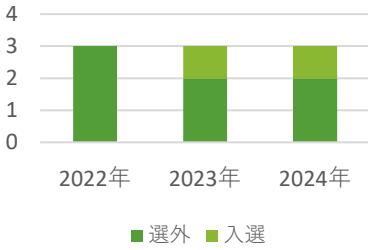
和紙



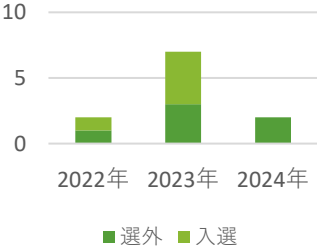
文具



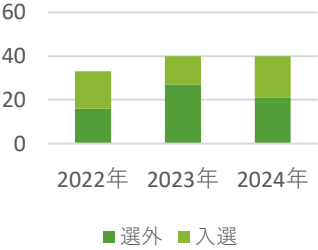
石工品・貴石細工



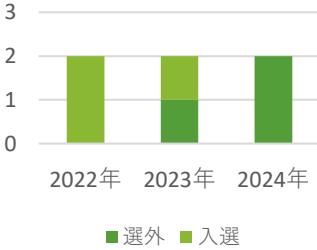
人形・こけし



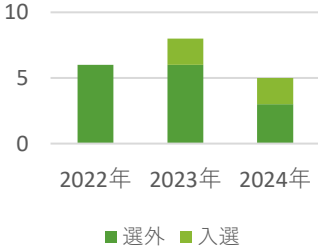
諸工芸



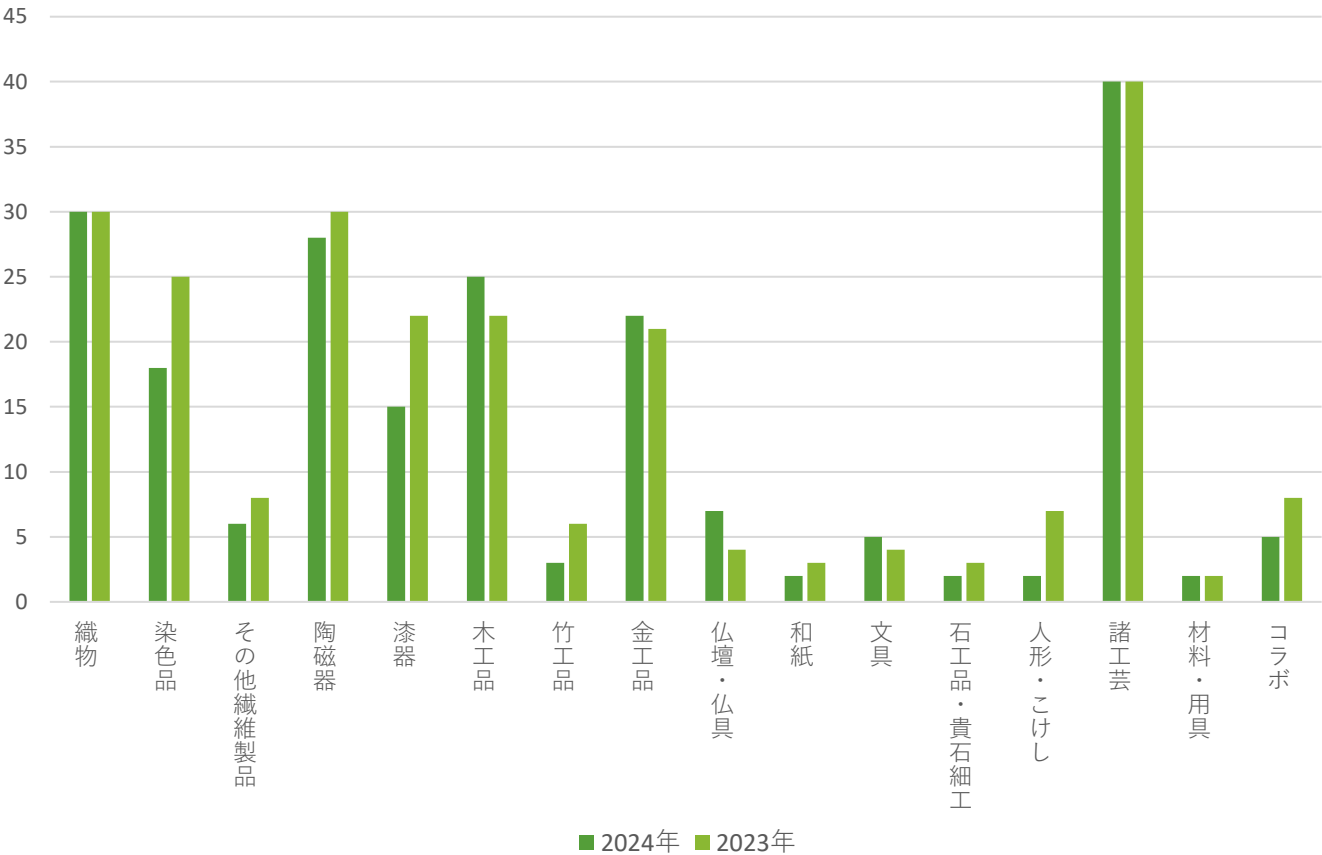
材料・用具



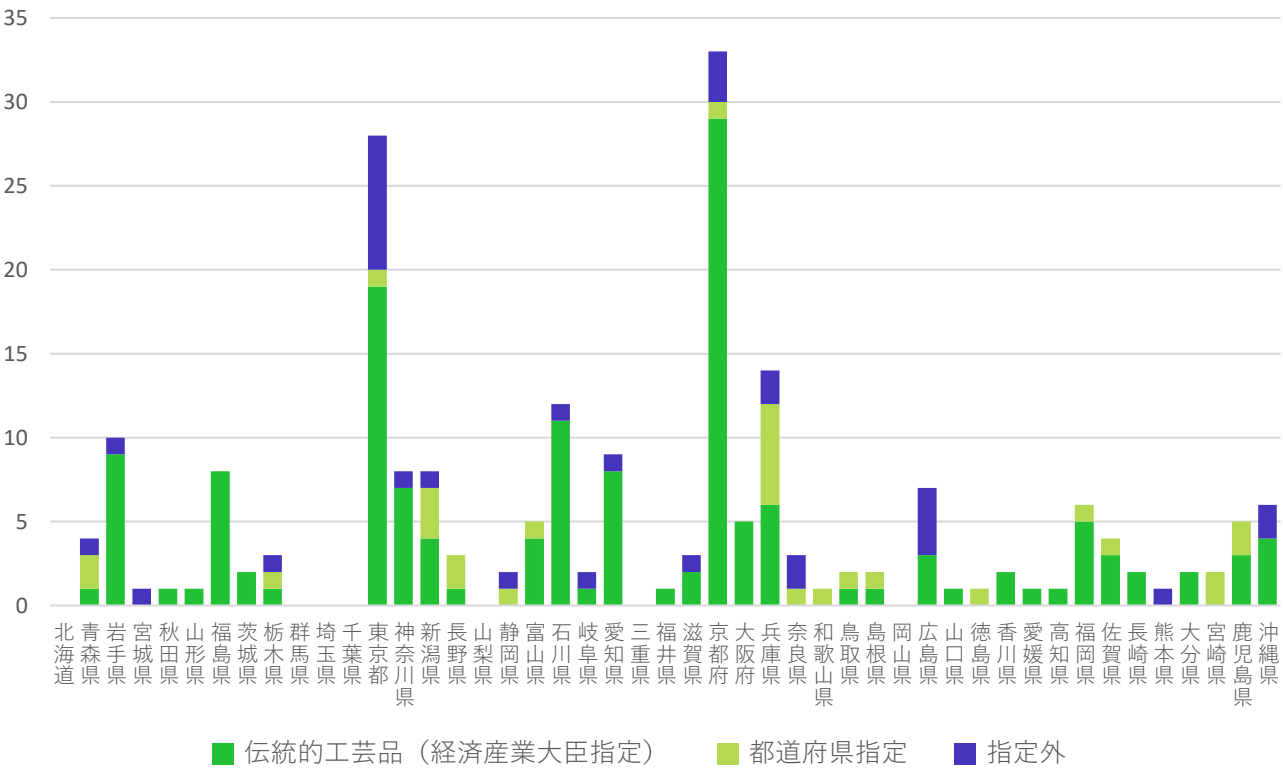
コラボ



業種別の応募点数（前年度比較）



都道府県別応募点数





一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会

〒107-0052 東京都港区赤坂8-1-22

TEL 03-5785-1001 FAX 03-5785-1002

kouboten@kougei.or.jp <https://kyokai.kougeihin.jp/>